

## 特定課題Ⅶ 外来種の監視と防除

### 1. 主要施策の取組状況

#### (1) 外来種の監視と侵入未然防止

##### ① アライグマの情報収集と監視

アライグマ防除実施計画に基づき、市町村に寄せられた捕獲情報・目撃情報を収集した。かながわ鳥獣被害対策支援センターにおいて、県営施設やJAに対しアライグマ専用わなの貸出しを行った。また、地域主体の捕獲にあたって技術支援を行った。

##### ② その他外来生物の情報収集と監視

大和市等で分布が拡大しているクリハラリスについて、目撃情報の収集や自動撮影カメラの記録の確認を行った結果、丹沢大山地域では生息が確認されなかった。



クリハラリス捕獲わな（大和市内）

##### ③ 自然観察プログラムを活用した外来種の普及啓発の取組

自然環境保全センターではアメリカザリガニなどの外来種の影響等に関する講座等を実施するとともに、6月から8月の土日祝日にアメリカザリガニ釣りを実施し、外来種の影響や問題点などについて学ぶ機会を提供した。（8月末の台風の影響による野外施設休園のため、9月は中止）また、アメリカザリガニの生体の展示や外来種問題についての展示を行った。〔R6 ザリガニ釣り参加人数 398人〕



ザリガニバスターズ(釣り)受付



捕獲されたアメリカザリガニ

## (2) 外来植物を用いない緑化手法の推進

### ①丹沢産の地域性苗木の育成

丹沢山堂平地区にブナの種子採種トラップを設置したところ 9.7kg のブナ種子を採取したが、「しいな」※1や虫害等の割合が高く健全種子は 1.74kg にとどまった。前年採取したブナ種子と合わせて乾燥処理後、冷蔵及び液体窒素による種子保存を行った。

また、西丹沢でブヤやオオモミジ、ケヤマハンノキ、ミヤマヤシャブシ、リョウブ、などの種子の採種を行った。

水源の森林づくり事業等で使用する広葉樹苗木の安定的な供給を図るため、母樹候補木等から種子を採取・精選し、発芽率、成長量調査及び生産量調査を実施した。

こうした取組により、丹沢産の種子による苗木生産が継続され、全 43 種、約 22,000 本の広葉樹苗木が生産された。



種子採取の様子



採取したオオモミジ

※1 しいな

殻だけで、実の中に中身が入っていない種子。

## ②生物多様性保全に向けた緑化手法の試行

自然に散布される種子により緑化を図る「遅速緑化」の試験施工を行った法面の施工地において追跡調査を行ったところ、在来木本等の侵入・定着により法面緑化が図られていることが確認された。



緑化工法モニタリング、林道・治山事業試験施工  
施行直後（相模原市緑区青野原）



緑化工法モニタリング、林道・治山事業試験施工  
施行から半年後（相模原市緑区青野原）

## 2. 主な事業実施位置図

